

「コンピューターでひとを助ける、ひとをつなぐ。」

東北公益文科大学で学べる情報とは

東北公益文科大学は情報が必修

国内の企業や地方自治体でも使用される日本語処理に優れた Ruby 言語(*)を使用

- 1 年次 オープンソースソフトウェアの使い方を学ぶ「情報リテラシー」
- 2 年次 プログラミングによる製品開発を通してひとに役立つことを考える
「基礎プログラミング」

東北公益文科大学は理数も学べる

論理的思考、細やかな計算力、情報教育は目的実現のためのツール

(科目例)

- 大学の教科書レベルの数学をカバーする科目 「数学の考え方」「統計の考え方」
- 統計学と関連ソフトウェア実習の科目 「統計学」「社会情報処理」等
- 情報処理推進機構の資格取得を目指す科目 「情報処理基礎論」「情報処理演習」

情報特別選抜

職場でコンピュータを使いこなす人材を目指す学びの場

◆ 情報特別選抜 B

情報発信の実習やエンドユーザコンピューティングに必要な知識を学ぶ科目を履修

- x 各コースのゼミに所属しながらコンピュータを積極的に使える人材を目指す
- x 就職後、コンピュータと職場をつなぐ人材を目指す

コース選択ごとの情報特別選抜選抜者の人材育成のイメージ

- ➔ (政策マネジメント) オープンソースを使う自治体に対応できる人材
- ➔ (地域共創) 情報発信に必要な技術をもつ人材
- ➔ (環境サイエンス) データをもとに情報を分析する人材
- ➔ (社会福祉) データベース管理知識のある人材

卒業生の職業 「公務員」「団体職員」「文系 SE」「社会福祉士」など

◆ 情報特別選抜 A

C 言語、ネットワーク、データベース、理工系の数学をカバーする科目を履修

- x 情報系大学院進学も視野に、理科系の素養も活かした人材を目指す
- x ネットワークエンジニア等、理科系大学出身者と同等の就職も目指す

- | | |
|------------|---|
| 1 年次推奨科目 | 「情報と社会」「統計の考え方」「数学の考え方」 |
| 2 年次推奨科目 | 「情報処理基礎論」「情報デザイン論」
「情報とコンピューティング」「数値情報処理」「統計学」 |
| 3 年次以降推奨科目 | 「応用プログラミング」「データベース応用」「情報交換概論」
「社会情報処理」「情報処理演習」「情報処理特講」 |

*) Ruby 言語: 日本人が作った日本語処理に優れるコンピュータ言語。国内大手ショッピングサイト、米国発短文投稿サイト、国内大手プロバイダ企業、地方自治体のホームページ等に使われている。